



はたらきものの なのみっ子

お昼休みの余韻が残る中庭掃除。ひとりせっせと砂集め。大きなほうきにちりとりかかえ、汗を流すは、なのみっ子。

◆ 第112回卒業証書授与式 ◆

こんにちは。

桜咲き、春の訪れとともに、今週19日(金)、84名の卒業生が本校を巣立ちます。コロナ禍の中、最上級生としての1年は彼らが力を発揮する機会を保障できず残念な思いもさせました。しかし、彼らは普段の生活の中で、この学校をしっかりと、リードしました。心を込めて晴れの姿を見送りたいと思います。

◆ 皆様のご尽力に感謝します!! ◆

先週13日(土)、PTA健康委員会(白水友美委員長)による本年度2回目の校内トイレ清掃が行われました。15日(月)には、学級委員会(安藤美紀委員長)による花植え作業が行われました。卒業式、そして新たな学年、入学式へ向け環境をすっきり整えてくださいました。各委員会の皆様、例年と異なる活動等で大変ご苦勞をおかけしました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。



◆ 通学路 其ノ十 ◆

金曜日は、卒業式。

今朝は体育館で、一回目の全体練習。

静寂の中、いつもはにぎやかな六年生も、担任の先生が醸し出すただならぬ空気に、緊張の表情で、いすに腰掛けています。

「あごを引いて、背筋を伸ばしましょう。」

「頭の中から背骨を一本の芯が通るように。」

恐ろしや、串焼きになりそうです。けれども六年生は凄い。

言われたことをきちんとして理解し背筋を伸ばします。

ふと、集団の中に、もじもじと落ち着かない子がいます。

(しゅんとせな)と分かっているけど、体は正直です。

すぐさま先生がスクランブル発信。その子のそばに駆け寄り(頑張れ)と激励しています。

隣りの席の子がまた偉い。串刺しのままでじっと座っているが、その動きを横目で見守っています。

わたくし、そんな光景について、大変失礼ながらマスクの中でクスッと笑ってしまいます。隣りを見ると、教頭先生も(もう、しょうがないな)とマスクの中でクスリ。

栄えある卒業式。そこに向けて子ども達も、担任も、頑張っています。もちろん、あの子も主役の一人。頑張ります。

われらが愛すべき、八四名の「なのみチルドレン」。

すっかりお兄さん、お姉さんになった彼らと、そこに垣間見える緊張感ゆえの子どもらしさ……。

彼らの新たな出発の日は、もうそこに来ています。